※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２６

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）音楽探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■「鑑賞（今年度はオペラ）」「器楽(キーボード)」「歌唱」の分野を学習します。
■ 学習の到達度は、鑑賞レポート、実技テスト、演奏発表、筆記テスト(小テスト)で評価します。
■ 音楽を通して様々なものを吸収し、音楽の良さや美しさを深く味わい感じたことを言語化すること、加えて、歌唱、キーボード演奏の学習をすることにより、さらに音楽への造詣を深めることを目標とします。
■ 音楽が、生涯にわたり皆さんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせること、また、音楽作品の歴史的背景や音楽文化を知り、音楽への造詣を深めることを目指す。
(1)歴史的・文化的背景などと音楽の関わりについて理解するとともに、音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、よさや美しさを深く味わって聴いたり、音楽を評価することができるようにする。
(3)主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、他者の感じ方や捉え方、表現方法を知ることにより、自身の感受性の幅を広げる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。(知識) ・音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽で表している。(技能)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に鑑賞および表現の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	歌唱	オペラアリア ・だれも寝てはならぬ （発音・発声・言葉の乗せ方）	a:オペラの構造を知り、オペラのアリアがどのような場面で効果的に歌われるか理解している。（知識） a:楽曲に合った音楽表現をするために必要な発音・発声・歌唱の技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように表すか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、歌唱に関心を持って、主体的・協働的に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	鑑賞	「世界の三大テノール」の演奏の鑑賞とグループディスカッション ・オペラアリア「だれも寝てはならぬ」の聴き比べ 「男声」「女声」の声種を知る。 「様々な声種」によるオペラアリアの鑑賞	a:世界の三大テノールのプロフィール、また、オペラアリアの表現の特徴、それぞれの声種の特徴について理解している。（知識） b:表現の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを味わい鑑賞している。 c:楽曲や表現・声種に興味・関心を持ち、他者の感じ方や捉え方を知り尊重するとともに、鑑賞に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート グループディスカッション	観察 ワークシート グループディスカッション

※令和４年度以降入学生用

	器楽	キーボード ・指番号・音階の習得 ・ド～ソの5音で弾ける曲の演奏 ・和音Ⅰ→Ⅴ→Ⅰを使ってお辞儀の合図の音を両手で演奏できるようになる 楽典 五線譜の読み方(ドレミ)	a:キーボード構造、指使い、音階ついて理解している。（知識） a:指番号を守り、音階、楽曲の演奏、和音の演奏の技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:キーボードを演奏する楽しさを味わい、キーボードに関心を持って、主体的に演奏に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	鑑賞	オペラ鑑賞およびグループディスカッション ・「トゥーランドット」 ・「ラ・ボエーム」 ・「トスカ」（一部抜粋） ・「ドン・ジョバンニ」（一部抜粋） ・「カルメン」（一部抜粋）	a:オペラの起源・構造・声種・表現の特徴・オーケストラ・指揮者について理解している。（知識） b:表現の特徴を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、音楽の良さや美しさを味わい鑑賞している。 c:作品および楽曲に興味・関心を持ち、他者の感じ方や捉え方を知り尊重するとともに、オペラ鑑賞に主体的・協働的に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート グループディスカッション	観察 ワークシート グループディスカッション
	器楽	キーボード 連続した5～6音で弾けるメロディーの演奏(右手) ・きらきら星 「カエルのうた」を両手で演奏。左手はドミソの和音。 楽典 五線譜の読み方(ドレミ)を継続して学習	a:音名、指使い、和音について理解している。（知識） a:指番号を守り、楽曲の演奏、和音の演奏の技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:キーボードを演奏する楽しさ・喜びを味わい、キーボードに関心を持って、主体的に演奏に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	器楽	キーボード 連続する8音で弾けるメロディーの演奏(右手) ・クリスマスキャロル 「もろびとこぞりて」 「エリーゼのために」の冒頭部分の演奏 ・右手、左手片手ずつ演奏 ・右手役、左手役を決めて全員で一緒に演奏 楽典 五線譜の読み方(ドレミ)を継続して学習	a:音名、指使い、右手の動き、左手の動きについて理解している。（知識） a:指番号を守り演奏する技能を身に付けている。（技能） b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:キーボードを演奏する楽しさ・喜びを味わい、キーボードに関心を持って、主体的・協働的に演奏に取り組もうとしている。	演奏の聴取 ワークシート 楽典ペーパーテスト	演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度